



学校だより

南の風

第 1 号
令和 3 年 4 月 6 日
大洗町立南中学校

はじめに

新たに5名の職員を加え、始業式を迎えました。
コロナ禍ではありますが、生徒の活躍やがんばっている姿をこの「南の風」を通して、保護者、地域の方々にお伝えしてまいります。また、ホームページにも様々なお便りや写真を掲載していきますので、併せてご覧いただければと思っております。保護者の皆様の温かなご支援をよろしくお願いいたします。



令和3年度始業式

(式辞の全文を紹介します)

2年生37名、3年生46名、進級おめでとうございます。

新しい気持ちで、令和3年度第1学期始業式に臨まれていることと **代表生徒発表** 思います。

ただいまは、生徒を代表して2名の生徒から抱負の発表がありました。2年生の からは、苦手としていた社会科に力を入れて取り組んだ結果、成績が上がってきたことを生かし、得意教科を増やしていきたいという学習面への抱負がありました。さらには、学級での生活や部活動に対して、率先して行動する姿を後輩に見せることで信頼される先輩になりたいという発表からは、2年生としての意気込みを感じました。



3年生の からは、受験を意識して普段の学習の工夫をしていくこと、部活動では総体に向けて一回一回の練習を大切にしていくこと、そして、今まで通りとはいかないが一つ一つの行事に全力で取り組み最高学年としての姿を1、2年生に示したいとの抱負が述べられました。さらに結びでは、南中で過ごす最後の1年を充実させ、南中や先生方に恩返しができるように、常に「感謝」の気持ちを大切に過ごしたいという言葉が聞かれ、これからの経験が人として大きく成長していくであろうと感じました。



発表ありがとうございました。そして、二人の発表を真剣に聞いていた、ここにいる全員からは、2年生は学校を支える中堅学年として、3年生は学校の顔となる最上級生として、南中を創っていくという意欲を感じました。

さて、始業式を迎えるにあたり、宮沢章二さんという方が作られた詩の一部を紹介したいと思います。この詩は、かつて、ACジャパン(公共広告機構)でテレビでも放映されたことのある詩です。

「ころ」は見えないけれど 「ころづかい」は見える

「思い」は見えないけれど 「思いやり」は見える

あたたかい心が あたたかい行為になり

やさしい思いが やさしい行為になるとき

「ころ」も「思い」も初めて美しく生きる



この歴史ある南中には、この詩が表すような、あたたかい行い、やさしい行いがたくさん見られます。「時、礼、美」とはまさに、「ころ」を込め、「思い」を胸に行動することです。その行動すべてがとても美しく、人の心を動かします。

ここにいる南中の生徒のみなさんは、周りの人に感動を与える生徒です。感動は感謝を生みます。あらこちらで、「ありがとう」が聞こえる、そんな南中にしていきたいです。

そのためには、どこでも、誰にでも、「ころ」のこもった「時、礼、美」をお願いします。